

困った時にすぐ確認できる!! 車の汚れトラブルシューティング

水ジミ(ウォータースポット)

水道水、井戸水、黄砂の雨などに含まれる「ミネラル=無機質」が原因



《軽い場合》

- 洗車後、「ミネラルオフ」をスポンジに付けて擦り落とす。使い方は、ピュアキーパーと同じ。
- キーパー施工車なら、「ミネラル取り洗車」。洗車の拭き上げ時に、極少量「レジ2」を含ませたクロスで拭き上げて落とす。

《ひどい場合》

- 「ポリッシャーを使った研磨作業(軽研磨もしくは鏡面研磨)」で削り落とす。

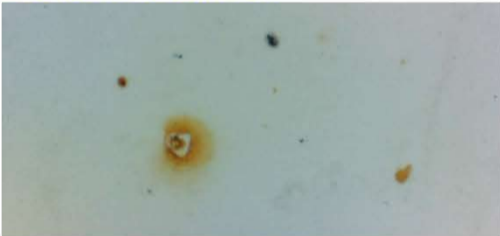
※他社ボディガラスコーティングに付く頑固な水ジミは取り切れない場合が多いので注意。

- キーパー施工車なら、洗車後に「爆ツヤ」や「爆白ONE」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで擦り落とす。

※キーパー施工車以外でも、爆ツヤや爆白ONEである程度減らせる。

鉄粉

線路や製鉄所から舞った鉄の粉が原因。空からかかるので上面に多い



《軽い場合》

- 洗車後、「爆ツヤ」もしくは「爆白ONE」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで軽く擦り落とす。

※他の汚れと一緒に落ちる。

《ややひどい場合》

- 洗車後、「トラップ粘土膏」で擦りながら、削り落とす。補助剤として「ピュアアップ4」をかけておくと、安全かつ作業効率上がる。

※粘土は、塗装面のプレスラインをまたがないように注意。

《ひどい場合》

- 予め、「アイアンイーター」をかけて10分程度付け置きし、水でよく洗い流す。

※化学的な力で、大きく減らす。

- その後、「トラップ粘土膏+ピュアアップ4」の作業で除去。

※最後に物理的な力で、落とし切る。

消雪パイプの錆

消雪パイプから流れる地下水には、「鉄サビ」と「ミネラル」をよく含む



《軽い場合》

- 洗車後、「消雪パイプ錆クリーナー」を10分程度付け置きし、クロスで擦りながら、鉄サビを水で洗い流す。

《ひどい場合》

- 上記の「消雪パイプ錆クリーナー」の作業の後に、「爆白ONE」とクロスでミネラル膜を擦り落とす。

水アカ

古くなったワックスなどの有機質の汚れには「爆ツヤ」「爆白ONE」



《軽い場合》

- 洗車後、「爆ツヤ」もしくは「爆白ONE」を2~3分程度付け置きしてから、スポンジで擦り落とす。

《ひどい場合》

- 「爆白ONE」なら、付け置き時間を長く5分程度にし、化学的な力でよく分解させてから落とす。

- 「爆ツヤ」なら、付け置きしてから、とにかく強く擦って落とす。

※爆ツヤは、強く擦っても傷付かず、むしろ艶が出る。

ペイントミスト

除去に時間がかかり、1台あたり高額の工賃がかかる



- 「トラップ粘土赤(青よりも粗目の粘土)+ピュアアップ4」で、鉄粉取りと同じ方法で除去。

- その後、必ず「トラップ粘土赤」による微細傷が塗装面に付くので、ポリッシャーによる軽研磨作業で整える。

松ヤニ(樹脂)

主成分の「ロジン」は、「内窓クリーナー」に含まれるエタノールで取れる



- 洗車後に、「内窓クリーナー」を多量含ませたクロスで拭き取る。

※ロジンは、内窓クリーナーに含まれるエタノールで溶ける。

融雪剤(塩化カルシウム等)

融雪剤(塩化カルシウム)は水に溶けやすい



- 「高圧水」をかけ続けて落とす。

窓ガラス面の油膜

ガラス面に付いた油膜は、「ガラスポリッシャーSIC」で磨き落とす



- 「ガラスポリッシャーSIC」を付けて、クロスで擦り落とす。

虫

コーティングを落とさず、虫だけをふやかして取る



《軽い場合》

- 洗車前に、予め「インセクトリムーバー」をかけておくと、洗車やコーティング前処理作業で簡単に取れる。

《ひどい場合》

- 洗車後に、「インセクトリムーバー」を2~3分付け置きしてから、スポンジもしくはクロスで軽く擦り落とす。

※インセクトリムーバーは、コーティングを落とさず、虫だけを取る。

花粉

花粉シミは、含有するペクチンが原因。取るためには「熱」がポイント



《軽い場合》

- 「お湯」で温めたキーパークロス(約50℃)で拭き取る。

《ひどい場合》

- 「70℃以上のお湯」をかけ続ける。塗装面が70℃以上の状態が2~3分程度続くと消える。

※もしくは、塗装面が熱くなる「夏」まで待つ。

ピッチ・タール

ピッチは、アスファルトのこびり付き。「タールリムーバー」でよく溶ける



《軽い場合》

- ピッチは、アスファルトのこびり付き。「タールリムーバー」でよく溶ける。

《ひどい場合》

- 洗車後に、「タールリムーバー」をかけて2~3分付け置きしてから、スポンジもしくはクロスで軽く擦り取る。

- 「爆ツヤ」なら、付け置きしてから、とにかく強く擦って落とす。

ホイールの油汚れ

ホイールの油汚れには、「ホイールクリーナー」



- 「ホイールクリーナー」をスプレーし、ホイールスポンジで擦り落とす。

鳥フン

「インセクトリムーバー」を使って、ボディを傷付けずに優しく取る



- 「インセクトリムーバー」をかけて2~3分付け置きしてから、高圧水で洗い流す。その後スポンジもしくはクロスで軽く擦り落とす。

※ただし、鳥フンは強い酸性なので、鳥フンがあった箇所の状態を見て、必要があればコーティングの部分補修をする。

※鳥フンによって、塗装面がひび割れている場合は取れないので注意。

樹脂バンパーのワックスかす

キーパーファイナル1の拭き残しも、同様の方法で取れる



- 洗車後に、「ベストブラック」を、水を多く含ませたスポンジに付けて擦り落とす。ベストブラックが残りやすいので、よく水でよく洗い流す。

- コーティング施工をする場合、コーティング前処理工程の「爆白ONE」もしくは「爆ツヤ」で除去。

※仕上げにレジ2を施工するとキレイになる。

雑草のこびり付き

「インセクトリムーバー」でふやかすと、簡単に取れる



《軽い場合》

- 洗車前に、予め「インセクトリムーバー」をかけておくと、洗車やコーティング前処理作業で取れる。

《ひどい場合》

- 洗車後に、「インセクトリムーバー」をかけて2~3分付け置きしてから、スポンジもしくはクロスで軽く擦り落とす。

ホイールのブレーキダスト

ホイールのブレーキダストには、「ブレーキダストクリーナー」



《軽い場合》

- 「B.D.C.(ブレーキダストクリーナー)」をスプレーし、2~3分放置後に高圧洗浄で洗い流す。

《ひどい場合》

- 高圧洗浄後、「B.D.C.(ブレーキダストクリーナー)」をスプレーし、2~3分放置してからホイールスポンジで擦り落とす。

※「アイアンイーター」は、ブレーキダストを落とせるが、キャリア(亜鉛メッキ)を変色させる可能性があるため使用不可。